

平成 26 年度第 1 回土居町地域づくり協議会議事概要

1	会議名	平成 26 年度第 1 回土居町地域づくり協議会
2	日時	平成 26 年 7 月 30 日（水）午前 10 時～11 時
3	会場	土居庁舎 3 階大会議室
4	出席者	委員 加藤敏史、続木一雄、江口徹子、岸伸、近藤達之介、鈴木尊 鈴木良明、古川静枝、保子仁、森実信、好井幸三郎、渡邊和春 理事者 篠原市長、総務部長、建設課長、農林水産課長、農業振興課長 給水整備課長、安全・危機管理課長、教育総務課長、生涯学習課長 建設課 1 名、給水整備課 1 名、安全・危機管理課 1 名、教育総務課 1 名 生涯学習課 1 名 事務局（2 名）
5	傍聴者	報道関係 1 名
協議事項等		
1	会議次第	(1) 開会 (2) 市長あいさつ (3) 委嘱状授与 (4) 委員長、副委員長選任 (5) 議事 ① 平成 26 年度事業の実施状況について ② その他 (6) 閉会
2	会議概要	(1) 開会 (2) 市長あいさつ (3) 委嘱状授与 (4) 委員長、副委員長選任…委員長に加藤敏史委員、副委員長に続木一雄委員が就任 (5) 議事 ① 平成 26 年度事業の実施状況について <各担当課より説明> <主な意見> 委員：年度をまたいだ工事の場合、一時工事が中断している場合がある。継続的に作業してもらいたい。 理事者：例えば川の中での施工の場合は、洪水の起きない地域でしか作業できず、県から許可を得る必要がある。県と連携し地域住民にご迷惑をかけないよう作業を進めたい。 委員：蕪崎排水機場の工事とはどのようなものか。 理事者：蕪崎排水機場内の自家発電機が絶縁を起こすため、補修するものである。 委員：有害鳥獣捕獲事業および有害鳥獣被害防止対策事業についての効果は。 理事者：有害鳥獣捕獲事業については平成 25 年度市内でイノシシ 50 頭、ニホンジカ 109 頭、ニホンザル 3 頭、カラス 4 羽、スズメ 36 羽の捕獲実績がある。 理事者：全国的に有害鳥獣対策には頭を抱えており、根本的な解決は難しいのが現状である。 委員：有害鳥獣の所管は現在農林水産課と農業振興課に分かれているが、窓口を一

本化してはどうか。

理事者：以前から窓口一本化の要望はあった。所管についても協議を進めている段階である。

② その他

<主な意見>

・学校教育について

委員：ある保護者から、子どもの進路について市に相談した際、たいへん親身になって対応してくれたとお話があったので、この場でお知らせしたい。

(6) 閉会